

第 33 回建設業経理士試験 模範解答

2 級

〔第 1 問〕

No.	借 方			貸 方		
	記号	勘 定 科 目	金 額	記号	勘 定 科 目	金 額
(1)	K	別 途 積 立 金	1,800,000	L	繰 越 利 益 剰 余 金	1,800,000
(2)	D	建 物	21,000,000	E	建 設 仮 勘 定	7,000,000
				B	当 座 預 金	14,000,000
(3)	C	投 資 有 価 証 券	4,900,000	B	当 座 預 金	4,907,750
	S	有 価 証 券 利 息	7,750			
(4)	G	機械装置減価償却累計額	4,920,000	J	機 械 装 置	8,200,000
	U	火 災 未 決 算	3,280,000			
(5)	H	完成工事補償引当金	500,000	F	工 事 未 払 金	500,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

〔第 2 問〕

(1) ￥

142

(2) ￥

16,000,000

(3) ￥

6 年

(4) ￥

8,000,000

各 3 点 合計 12 点
(配点は、当学院の予想です)

〔第 3 問〕

部 門 費 振 替 表 (単位：円)

摘 要	合 計	施工部門			補助部門		
		工事第 1 部	工事第 2 部	工事第 3 部	(仮 設)部門	(機 械)部門	(運 搬)部門
部門費合計	17,618,730	5,435,000	8,980,000	2,340,000	253,430	425,300	185,000
(運 搬)部 門	185,000	46,250	74,000	51,800	9,250	3,700	――
(機 械)部 門	429,000	137,280	150,150	107,250	34,320	429,000	――
(仮 設)部 門	297,000	89,100	118,800	89,100	297,000	――	――
合 計	17,618,730	5,707,630	9,322,950	2,588,150	――	――	――
(配賦金額)	――	272,630	342,950	248,150	――	――	――

1 つにつき 2 点 合計 14 点
(配点は、当学院の予想です)

〔第 4 問〕

問 1 記号(A～G)

1	2	3	4	5
A	B	C	C	A

各 2 点 合計 10 点
(配点は、当学院の予想です)

問 2

工 事 別 原 価 計 算 表 (単位：円)

摘 要	No. 501	No. 502	No. 601	No. 602	合 計
月初未成工事原価	1,329,000	2,778,400	――	――	4,107,400
当月発生工事原価					
材 料 費	258,000	427,000	544,000	175,000	1,404,000
労 務 費	321,300	531,300	785,400	403,200	2,041,200
外 注 費	765,000	958,000	2,525,000	419,000	4,667,000
直 接 経 費	95,700	113,700	195,600	62,800	467,800
工 事 間 接 費	57,600	81,200	162,000	42,400	343,200
当月完成工事原価	2,826,600	――	4,212,000	――	7,038,600
月末未成工事原価	――	4,889,600	――	1,102,400	5,992,000

工事間接費配賦差異月末残高 ¥ 1,300 記号 (AまたはB) A

1 つにつき各 2 点
工事間接費配賦差異月末残高は、金額と記号両方正解で 2 点
合計 14 点
(配点は、当学院の予想です)



〔第 5 問〕

精 算 表								
勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	19,800		500	1,400			18,900	
当 座 預 金	214,500						214,500	
受 取 手 形	112,000						112,000	
完成工事未収入金	565,000			7,000			558,000	
貸 倒 引 当 金		7,800		240				8,040
有 価 証 券	171,000			18,000			153,000	
未 成 工 事 支 出 金	213,500		1,000 2,000 500 8,600	93,600			132,000	
材 料 貯 蔵 品	2,800			1,000			1,800	
仮 払 金	28,000			3,000 25,000				
機 械 装 置	300,000						300,000	
機械装置減価償却累計額		162,000		2,000				164,000
備 品	90,000						90,000	
備品減価償却累計額		30,000		30,000				60,000
支 払 手 形		43,200						43,200
工 事 未 払 金		102,500						102,500
借 入 金		238,000						238,000
未 払 金		124,000						124,000
未 成 工 事 受 入 金		89,000		21,000				110,000
仮 受 金		28,000	7,000 21,000					
完成工事補償引当金		24,100		500				24,600
退 職 給 付 引 当 金		113,900		11,400				125,300
資 本 金		100,000						100,000
繰越利益剰余金		185,560						185,560
完 成 工 事 高		12,300,000				12,300,000		
完 成 工 事 原 価	10,670,800		93,600		10,764,400			
販売費及び一般管理費	1,167,000				1,167,000			
受 取 利 息 配 当 金		23,400				23,400		
支 払 利 息	17,060				17,060			
	13,571,460	13,571,460						
事 務 用 消 耗 品 費			800		800			
旅 費 交 通 費			2,500		2,500			
雑 損 失			600		600			
備 品 減 価 償 却 費			30,000		30,000			
有 価 証 券 評 価 損			18,000		18,000			
貸倒引当金繰入額			240		240			
退職給付引当金繰入額			2,800		2,800			
未 払 法 人 税 等				71,000				71,000
法人税、住民税及び事業税			96,000		96,000			
			285,140	285,140	12,099,400	12,323,400	1,580,200	1,356,200
当 期 (純 利 益)					224,000			224,000
					12,323,400	12,323,400	1,580,200	1,580,200

1 つにつき 2 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

《2 級解説》

〔第 1 問〕

- (1) 別途積立金は利益剰余金に該当するため、その取崩額は繰越利益剰余金勘定に振り替えます。
- (2) 契約時に支払った¥7,000,000 は建設仮勘定で処理されていますので、当該固定資産の完成・引渡を受けた時には当該固定資産勘定(建物勘定)に振り替えます。
- (3) 社債を個入した場合は、指定勘定科目に従って投資有価証券勘定に計上します。なお、支払った端数利息(前回の利払日の翌日から購入日までの日数分)は有価証券利息勘定で処理します。
- 投資有価証券(取得原価)： $¥5,000,000 \times \frac{① ¥98}{② ¥100} = ¥ ¥4,900,000$
- 有価証券利息(端数利息)： $¥5,000,000 \times 1.825\% \times \frac{31 \text{日}(4/1 \sim 5/1)}{365 \text{日}} = ¥7,750$
- (4) 火災保険が付されている固定資産が焼失した場合、その保険金が確定するまでは一時的に火災直前の帳簿価額を火災未決算勘定に計上します。
- (4) 補修工事に際して、完成工事補償引当金が設置されている場合は、完成工事補償引当金を取り崩して補てんします。なお、補修工事に係る外注工事代の未払額は工事未払金勘定に計上します。

〔第 2 問〕

- (1) 実地棚卸数量：3,200 個－50 個(棚卸減耗数量)＝3,150 個
- 商品評価損：(③ ¥150－④ ¥?)×3,150 個＝¥25,200
- ¥25,200÷3,150 個＝(③ ¥150－④ ¥?)
- ③ ¥8＝(③ ¥150－④ ¥?)
- ④ ¥?＝③ ¥150－③ ¥8
- ④ ¥?＝④ ¥142

③ ¥150		
	商品評価損 ¥25,200	棚 卸 減 耗
④ ¥?		損
		3,150 個 3,200 個

- (2) 完成工事高： $¥80,000,000 \times \frac{¥9,000,000 + ¥10,600,000}{¥56,000,000} - ¥12,000,000 ※ = ¥16,000,000$

※前期完成工事高： $¥80,000,000 \times \frac{¥9,000,000}{¥60,000,000} = ¥12,000,000$

- (3) 平均耐用年数の計算

	取得原価	要償却額	個別耐用年数	個別償却額
機械装置 A	¥2,500,000 － ¥250,000	¥2,250,000	÷ 5 年	= ¥450,000
機械装置 B	¥5,200,000 － ¥250,000	¥4,950,000	÷ 9 年	= ¥550,000
機械装置 C	¥ 600,000 － ¥ 90,000	¥ 510,000	÷ 3 年	= ¥170,000
機械装置 D	¥ 300,000 － ¥ 90,000	¥ 270,000	÷ 3 年	= ¥ 90,000
合 計		¥7,980,000		¥1,260,000

平均耐用年数： $\frac{\text{要償却額の合計}}{\text{個別償却額の合計}} = \frac{¥7,980,000}{¥1,260,000} = 6.33 \cdots \therefore 6 \text{ 年}$

- (4) 賞与引当金の計算

賞与引当金繰入額： $¥12,000,000 \times \frac{4 \text{か月}(12 \text{月から翌3月})}{6 \text{か月}(12 \text{月から翌5月})} = ¥8,000,000$

〔第 3 問〕

1. 第 1 順位(運搬部門)

工事第 1 部： $¥185,000 \times 25\% = ¥46,250$

工事第 2 部： $¥185,000 \times 40\% = ¥74,000$

工事第 3 部： $¥185,000 \times 28\% = ¥51,800$

仮 設 部 門： $¥185,000 \times 5\% = ¥9,250$

機 械 部 門： $¥185,000 \times 2\% = ¥3,700$

2. 第 2 順位(機械部門)

工事第 1 部： $(¥425,300 + ¥3,700) \times 32\% = ¥137,280$

工事第 2 部： $(¥425,300 + ¥3,700) \times 35\% = ¥150,150$

工事第 3 部： $(¥425,300 + ¥3,700) \times 25\% = ¥107,250$

仮 設 部 門： $(¥425,300 + ¥3,700) \times 8\% = ¥34,320$

3. 第 3 順位(仮設部門)

工事第 1 部： $(¥253,430 + ¥9,250 + ¥34,320) \times 30\% = ¥89,100$

工事第 2 部： $(¥353,430 + ¥9,250 + ¥34,320) \times 40\% = ¥118,800$

工事第 3 部： $(¥253,430 + ¥9,250 + ¥34,320) \times 30\% = ¥89,100$

〔第 4 問〕

問 1 原価の本質

模範解答参照

問 2

1. 月初仕掛品原価

No.501： $¥235,000 + ¥329,000 + ¥650,000 + ¥115,000 = ¥1,329,000$

No.502： $¥580,000 + ¥652,000 + ¥1,328,000 + ¥218,400 = ¥2,778,400$ 合 計 ¥4,107,400

2. 当月発生工事原価

(1) 労務費の配賦額

No.501： $@ ¥2,100 \times 153 \text{ 時間} = ¥321,300$

No.502： $@ ¥2,100 \times 253 \text{ 時間} = ¥531,300$

No.601： $@ ¥2,100 \times 374 \text{ 時間} = ¥785,400$

No.602： $@ ¥2,100 \times 192 \text{ 時間} = ¥403,200$ 合 計 ¥2,041,200

(2) 工事間接費予定配賦

① 配賦率： $¥2,252,000 \div ¥56,300,000 = 0.04$

② 配賦額：

No.501： $(¥258,000 + ¥321,300 + ¥765,000 + ¥95,700) \times 0.04 = ¥57,600$

No.502： $(¥427,000 + ¥531,300 + ¥958,000 + ¥113,700) \times 0.04 = ¥81,200$

No.601： $(¥544,000 + ¥785,400 + ¥2,525,000 + ¥195,600) \times 0.04 = ¥162,000$

No.602： $(¥175,000 + ¥403,200 + ¥419,000 + ¥62,800) \times 0.04 = ¥42,400$ 合 計 ¥343,200

3. 工事間接費配賦差異の月末残高

(1) 当月配賦差異：

$¥343,200 (\text{予定}) - ¥341,000 (\text{実際}) = ¥2,200 (\text{貸方差異})$

(2) 工事間接費配賦差異月末残高

$¥3,500 (\text{借方残高}) - ¥2,200 (\text{貸方差異}) = ¥1,300 (\text{借方残高})$

〔第 5 問〕

(1) 現金過不足について

(事 務 用 消 耗 品 費)	800	(現 金)	1,400 *
(雑 損 失)	600		

* 現金過不足：実際¥18,400－帳簿¥19,800＝△¥1,400 (不足)

(2) 材料貯蔵品について

(未 成 工 事 支 出 金)	1,000	(材 料 貯 蔵 品)	1,000
-------------------	-------	---------------	-------

(3) 仮払金について

① (旅 費 交 通 費)	2,500	(仮 払 金)	3,000
(現 金)	500		

(注) ②については下記(11)参照

(4) 減価償却

① 機械装置(工事現場用)

(未 成 工 事 支 出 金)	2,000 *	(機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額)	2,000
-------------------	---------	---------------------------	-------

工事現場用の機械装置については、毎月の予定計上額合計¥54,000 と実際発生額¥56,000 との差額を当期の工事原価(未成工事支出金)に加減します。

* 予定計上額：¥4,500×12 か月＝¥54,000

実際発生額：¥56,000

∴ ¥54,000－¥56,000＝△¥2,000(計上不足)

② 備品(本社用)

(備 品 減 価 償 却 費)	30,000 *	(備 品 減 価 償 却 累 計 額)	30,000
-------------------	----------	-----------------------	--------

* 減価償却費：¥90,000÷3 年＝¥30,000

(5) 有価証券について

(有 価 証 券 評 価 損)	18,000 *	(有 価 証 券)	18,000
-------------------	----------	-------------	--------

* 評価損益：時価¥153,000－簿価¥171,000＝△¥18,000(評価損)

(6) 仮受金について

① (仮 受 金)	7,000	(完 成 工 事 未 収 入 金)	7,000
② (仮 受 金)	21,000	(未 成 工 事 受 入 金)	21,000

(7) 貸倒引当金について

(貸 倒 引 当 金 繰 入 額)	240 *	(貸 倒 引 当 金)	240
---------------------	-------	---------------	-----

* $(\underbrace{¥112,000}_{\text{受取手形}} + \underbrace{¥565,000}_{\text{完成工事未収入金}} - \underbrace{¥7,000}_{\text{貸倒引当金}} \times 1.2\% - \underbrace{¥7,800}_{\text{貸倒引当金}} = ¥240$

(8) 完成工事補償引当金について

(未 成 工 事 支 出 金)	500 *	(完 成 工 事 補 償 引 当 金)	500
-------------------	-------	-----------------------	-----

* ¥12,300,000×0.2%－¥24,100＝¥500

(9) 退職給付引当金について

(退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額)	2,800	(退 職 給 付 引 当 金)	11,400
(未 成 工 事 支 出 金)	8,600		

(10) 未成工事支出金について

(完 成 工 事 原 価)	93,600	(未 成 工 事 支 出 金)	93,600
-----------------	--------	-------------------	--------

未成工事支出金			
T/B	213,500		
(2)	1,000		
(4)①	2,000	(差額)	
(8)	500		
(9)	8,600	次期繰越	132,000

差額¥93,600 を完成工事原価として
完成工事原価勘定に振り替えます。

(11) 法人税等について

(法人税、住民税及び事業税)	96,000 *1	(仮 払 金)	25,000
		(未 払 法 人 税 等)	71,000 *2

*1 (総収益¥12,323,400－総費用¥12,003,400)×30％＝¥96,000

*2 ¥96,000－¥25,000＝¥71,000

損 益 計 算

完 成 工 事 原 価	10,764,400	完 成 工 事 高	12,300,000
販売費及び一般管理費	1,167,000	受 取 利 息 配 当 金	23,400
支 払 利 息	17,060		
事 務 用 消 耗 品 費	800		
旅 費 交 通 費	2,500		
雑 損 失	600		
備 品 減 価 償 却 費	30,000		
有 価 証 券 評 価 損	18,000		
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	240		
退職給付引当金繰入額	2,800		
税引前当期純利益	320,000		